

みえ県議会 だより

NO.
148

平成28年
(2016年)
5月1日



伊賀上野城(伊賀市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町 13

☎ 059 (224) 2877 ㊚ 059 (229) 1931 ㊞ gikaik@pref.mie.jp

㊟ http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



平成28年三重県議会定例会(1月~3月) 「平成28年度当初予算」「伊勢志摩サミット」などについて議論

平成28年定例会を1月に開会し、伊勢志摩サミット関連経費など総額約7,366億円の平成28年度一般会計予算や、平成28年度から31年度までの4年間の県の中期の戦略計画である「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」について審議し、可決しました。

本号の主な内容

- 1面 本会議審議の結果、会議の開催状況
インターネット中継のお知らせ
傍聴のご案内
- 2~4面 平成28年三重県議会定例会の日程
代表・一般質問、文書による質問
1年間の委員会活動の振り返り
意見書を国に提出
お知らせ

会議の開催状況

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

1月

12日 人口減少対策調査特別委員会
委員長報告案について
18日 本会議(開会)
決議案1件上程・可決

2月

4日 教育警察常任委員会
所管事項の調査
15日 予算決算常任委員会
参考人の出席要求について
18日 本会議
議案69件上程
25日 本会議
代表質問(2人)、議案に関する
質疑(5人)
予算決算常任委員会
参考人からの意見聴取
予算決算常任委員会各分科会
議案の審査、所管事項の調査
29日 本会議
一般質問(5人)
予算決算常任委員会
議案の審査
本会議
議案1件可決

3月

2日 本会議
一般質問(4人)
3日 本会議
議案32件上程、議提議案1件
上程
4日 本会議
一般質問(5人)
7日 予算決算常任委員会
予算議案及び予算関連議案にか
かる総括質疑
人口減少対策調査特別委員会
委員長報告案について
8~10日、14日 各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査等
17日 予算決算常任委員会
議案の審査
22日 本会議
議案100件可決、議提議案1
件可決、請願4件採択・1件不
採択、意見書案8件上程・可
決、決議案1件上程・可決、人
事同意議案1件上程・同意
31日(3月会議) 本会議
議案1件上程・可決
総務地域連携分科会
議案の審査
予算決算常任委員会
議案の審査

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、
広聴広報会議、委員長会議、三重県手話言語に関する条例検討会、
議会改革推進会議役員会など、さまざまな会議を開催しています。

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況な
どの審議結果や、請願・意見書の内容
は、県議会ホームページの「本会議」か
らご覧いただけます。(1月~3月)

可決した議員提出議案

○三重県議会議員の議員報酬、費用弁償
及び期末手当に関する条例の一部を改
正する条例案

可決した議案

○平成28年度三重県一般会計予算
○平成27年度三重県一般会計補正予算(第
6号) ほか37件

採択した請願

○三重県地域と未来を拓く学生奨学金返
還支援基金条例案 ほか44件
○みえ県民力ビジョン・第二次行動計画
の策定について ほか17件
○副知事の選任につき同意を得るについ
て
○地域の実情に応じた医療提供体制の確
保を求めることについて
○診療報酬を引き下げず、地域医療を守
ることを求めることについて
○子ども・一人親家庭・障がい者の福祉医
療費助成の制度化と国保の国庫負担減

額調整措置の廃止を求めることについて
○介護保険制度における軽度者への福祉用
具貸与・住宅改修の継続を求めること
について

不採択とした請願

○TPP協定を国会で批准しないことを求
めることについて

可決した意見書

○科学的根拠に基づいた捕鯨及びイルカ漁
の持続的実施並びに商業捕鯨の再開を求
める意見書
○TPP協定の発効に伴う影響から農業と
国民生活を守ることを求める意見書
○北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決
を求める意見書
○奨学金制度の充実等を求める意見書
○地域の実情に応じた医療提供体制の確保
を求める意見書

可決した決議

○子ども・一人親家庭及び障がい者の医療
費助成の制度化と国民健康保険の国庫負
担減額調整措置の廃止を求める意見書
○介護保険制度における軽度者への福祉用
具貸与及び住宅改修の継続を求める意見
書
○北朝鮮の地下核実験に抗議する決議
○第76回国民体育大会の開催に関する決議

平成28年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。
5月から6月までの日程は次のとおりです。

- 5月 9日 代表者会議、議会運営委員会
- 11日~13日 代表者会議
- 16日 本会議(役員改選)
- 19日 代表者会議
- 20日 常任委員会(総務地域連携・環境生活農林水産・
健康福祉病院)
- 25日 議会運営委員会
- 6月 1日 常任委員会(戦略企画雇用経済・防災県土整備企
業・教育警察)
- 3日 本会議(議案上程)
- 8日 本会議(議案質疑)
- 10日、14日、16日 本会議(一般質問)
- 20日~23日 各常任委員会及び分科会
- 28日 予算決算常任委員会
- 29日 代表者会議、議会運営委員会
- 30日 本会議(採決)

この日程は、平成28年3月31日現在の予定です。最新の情報は、
ホームページでご確認ください。

テレビ中継 インターネット中継

インターネット中継のお知らせ

県議会では、開かれた議会運営の実現のために、県
民の皆さんがどこからでもご覧いただけるよう、イン
ターネットにより、すべての本会議、常任・特別委員
会、全員協議会、議長定例記者会見などの生中継・録
画配信を実施しています。

傍聴のご案内

○本会議
・受付時間 本会議開始30分前から
・定員 180人
・傍聴の方法
議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階傍聴受
付へお越しください。住所・氏名などの記入は不要
です。

傍聴券・資料などを受け取り、入室してください。
手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、事前に
議事事務局までお申し込みください。ただし、お申
し込み日によっては、ご希望に沿えない場合もあ
りますのでご了承ください。

○委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議・広
聴広報会議

・受付時間 委員会、会議開始30分前から
・定員 10人(会議開始10分前に定員を超えた場合
は、抽選で決定します。)
・傍聴の方法
議事堂正面玄関右側の1階受付で、傍聴券を受け
取り、各室の傍聴者入り口から入室してください。

代表質問

伊勢志摩サミットの成功に向けて

前田 剛志 議員
新政みえ
津市選出



問

サミット開催経費の総額約93億円に対する49億円の県負担は、負担が重すぎると思います。今後の地方開催のモデルとしては、30〜40億程度の県負担が望ましく、最低でも総額の半額以上の国の支援が必要と考えます。いかがですか。また、サミット開催による県内への経済効果を県民は強く期待しており、49億円の県負担を県民が納得できるように、地域別に経済効果を試算するなど、発表方法に工夫が必要と考えますが、発表内容と時期についてお聞かせください。



サミット開催予定地(賢島)

答

県の負担を軽減できるように、国に対して働きかけた結果、前例のない財政支援が構築され、次の開催自治体が財政負担を検討する際の、一定の布石になったと考えています。また、経済効果については、先般発表した「パブリシティ効果」に加え、「直接的な効果」と「ポストサミットの経済効果」の試算を、年度内を目途に公表できればと考えています。地域別の効果分析は困難ですが、わかりやすい説明に努めます。

○知事の政治姿勢 ほか

専攻科設置の進捗状況と今後の方向性

山本 勝 議員
自民党
桑名市・桑名郡選出



問

知事は、四日市工業高校に①専攻科を設置すると発表しました。三重県の工業高校には県内企業からの求人はとても多く、就職者の約8割が県内企業に就職しています。一方で、県内企業の経営者からは技術者不足に苦勞していると聞きます。三重県で高い技術・技能を持った優秀な人材を育成し、三重県で活躍していただくために、産業界とも連携して取り組みを進める必要があると考えます。そこで、専攻科設置の進捗状況と今後の方向性についてお聞かせください。

答

専攻科設置検討委員会を昨年9月に立ち上げ、三重ならではの特色や育成すべき人材などの視点からの検討が行われ、複数企業でのインターンシップなど課外活動の充実などの提案がありました。平成28年度は、就労体験の受入などの仕組みづくりに向け、企業や行政によるネットワークを構築するとともに、準備委員会を設け、教育課程の編成や学習環境の整備などを具体的に検討し、高校生や企業関係者に早期に周知していきます。



工業高校実習の様子

○伊勢志摩サミットの現状について ほか

差別のない共生する社会の実現に向けて

後藤 健一 議員
新政みえ
松阪市選出



問

「差別の禁止」「社会的障壁の除去」「合理的配慮の提供」等を具現化するものとして、4月1日に「障害者差別解消法」が施行されますが、何が差別に該当するのかわからないで混乱なく対応できるかが心配です。また、地域全体として差別解消に取り組む「障害者差別解消支援地域協議会」の各自治体への設置も遅れています。法施行を控えた県の準備状況を聞かせてください。



答

当事者や家族等からの差別に関する相談については、健康福祉部に相談窓口を設置して対応するとともに、国や市町等の相談窓口との連携体制を整えます。また、複数機関にわたる事案等は、県に設置予定の協議会で解決に向けた取り組みを協議、調整するとともに、事案の共有や事例収集に取り組めます。

○災害に強い地域の実現に向けて ほか

伊勢湾の環境改善のために藻場・干潟の再生を

中村 欣一郎 議員
自民党
鳥羽市選出



問

貧酸素とは海水の中に酸素の溶け込んでいる量が極端に少ないため生物が生きられない状態を言い、その塊が貧酸素水塊です。伊勢湾では夏場を中心に発生しています。陸域から海域への水質悪化の原因物質の流入規制だけでは貧酸素水塊の解消は難しく、伊勢湾の環境改善のためには、藻場・干潟の維持、あるいは再生が必要と考えますが、いかがですか。

答

伊勢湾の環境改善には、藻場・干潟の再生等を通じて、自然が持つ浄化能力を高めることが重要です。県では四日市市地先で干潟造成等を進めており、平成28年度からは、河川の堆積土砂の活用を図る計画です。今後は、伊勢湾の藻場・干潟ビジョンを策定し、計画的に干潟再生等に取り組んでいきます。



アサリの母貝場とする干潟の造成風景

○リノベーションまちづくりの持続可能な展開 ほか

県の責務として合併後の市町の支援を

奥野 英介 議員
鷹山
伊勢市選出



問

県が昨年7月に公表した「合併市町村状況調査」の結果では、「中心部だけよくなり周辺地域がさびれる」「新市町として一体性が確立できない」など8項目の合併後の課題が示されました。これらは予想されたことであり、国の指示に従って合併の旗振り役を担った県には、長い年月をかけてでも、市町の住み良いまちづくりを支える責任があると思います。いかがですか。



答

地方分権の流れの中で、県としては、基礎自治体である市町村の行政サービスを維持・向上させていくため、市町村合併の議論を推進するとともに、合併市町の支援に積極的に取り組んできました。今後も、合併市町の状況等の把握に努め、自立した行政運営に向け、必要な助言と情報提供を行っていきます。

○伊勢志摩サミットにおける安全・安心の確保について ほか

子どもの貧困の実態把握と行政責任の明確化を

岡野 恵美 議員
日本共産党
津市選出



問

子どもの貧困は社会問題であり、県においても子どもの貧困対策計画の最終案がまとまりました。平成25年度に生活保護を受けた三重県の18歳未満の子どもの数は、全国平均を下回っていますが、実際はもっと多く、貧困が広がっているのではないのでしょうか。そこで、子どもの貧困の実態把握と、県の取り組みの現状、県の責任についてお伺いします。

答

県では、貧困対応事例の聴き取り調査で明らかになった課題をふまえ、関係部局と連携し、子どもの貧困の実態に沿った取り組みを進めていきます。子どもも貧困対策に関する法律では、地方自治体の責務が規定されており、県としても公的責任をふまえ、子どもの貧困という課題に取り組んでいきます。



○子どもの医療費の窓口無料化を ほか

工業高校の実習用機械設備の充実を

彦坂 公之 議員
新政みえ 鈴木市選出



問 工業高校の実習用機械設備については、

時代遅れであったり、老朽化で操作性が著しく劣っていたりして、生産現場で必要とされているものとの乖離していることが指摘されています。工業高校では、産業の基盤を支える技能・技術者を育成しており、基本技術の取得はもとより、産業分野での新しい技術にも対応する設備の充実が不可欠と考えますが、いかがですか。




答 職業学科を対象に、平成21年度に集中的に設備を整備し、22年度以降は修繕を中心に行ってきた。工業高校からは新たに設備更新の要望が出されていることから、基礎的な実習設備を整備・更新するとともに、先端技術に触れる機会を創出するため、産業界との連携・協力を進めていきます。

その他の質問事項
○観光振興策について ほか

伊賀米のブランド力強化を

木津 直樹 議員
自民党 伊賀市選出



問 伊賀地域は三重県のみならず日本を代表する良質の米の産地です。

伊賀コシヒカリは食味ランキング「特A」を5年連続で獲得しましたが（日本穀物検定協会実施）、近年は米の消費が減退し米価も下落するなか、ブランド力を強化して、知名度を浸透させる取り組みが喫緊の課題であると考えます。県は今後、伊賀米の振興をどのようにしていくのかお聞きします。

答 伊賀米の美味しさを県内外でのイベントやホームページ等で効果的に情報発信し、知名度向上に取り組みとともに、マルシェ（市場）への出展等を通じて首都圏などで積極的にPRしていきます。今後とも、さらなる品質向上とより効果的な情報発信に取り組み、伊賀米のブランド力強化につなげていきます。




伊賀米の生産風景

その他の質問事項
○伊賀地域の高等学校 ほか

津波予測・伝達システムの東紀州地域への展開を

藤根 正典 議員
新政みえ 熊野市・南牟婁郡選出



問 DONETを活用した津波予測・伝達システムは、津波の観測を緊急速報メールで繰り返し住民等に発信する画期的なものです。

伊勢志摩地域4市町への導入に続き、今後は東紀州地域へ展開されると聞いています。その際、地元市町との調整が不可欠だと思います。具体的にどのように東紀州地域への拡大を進めていくことかについてお聞かせください。




DONETの観測場所

答 今回のシステム整備は、伊勢志摩サミットに向けた緊急対策という観点から県主導で進めてきましたが、サミット後の県南部への展開にあたっては、経費負担や市町の災害対策体制にも影響するため、十分な調整が必要であり、サミット終了後の早い時期に関係市町との協議の場を設け、構想をまとめていきます。

その他の質問事項
○今後の地域医療のあり方について ほか

南部地域ならではの仕事モデルの開発を

村林 聡 議員
自民党 度会郡選出



問 一般的には農林水産業だけでは収入が不足する面があるため、地域課題を解決するような他の仕事と組み合わせる仕事モデルの開発について、これまで議論してきました。

農林水産業が盛んで、特に人口流出が著しい南部地域において、市や町と協力しながら、定住につながるように事業を組み合わせ、仕事モデルの開発に取り組んではどうかと考えますが、いかがですか。


答 南部地域において農林水産業を軸とした仕事モデルを研究していくことは有意義な取り組みだと考えます。地域課題の解決につながる仕事を組み合わせる南部地域らしい仕事モデルを発掘・創出するため、市町の意向をふまえ、協議の場を設けて先進事例の収集や整理に努め、市町とともに研究していきます。



その他の質問事項
○農業・漁業の後継者対策 ほか

新しい地域包括ケアシステムの市町への支援を

芳野 正英 議員
新政みえ 四日市市選出



問 高齢者福祉だけでなく、地域の福祉の様々な場面で応用できる

全世代・全対象型地域包括支援の仕組み（地域ユニバーサルケア）が必要と考えます。今後は地域ユニバーサルケアの考え方に即して、先進事例の研究を重ね、研修を行った専門家を派遣したりして、市町のサポートを行っていくべきと考えますが、いかがですか。



答 国の平成28年度予算案で「多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業」が創設されました。県内では名張市等がモデル事業実施の意向を表明しており、県としては、国の動向や全国での取り組み状況等の情報収集に努めるとともに、要請があれば職員の研修や専門家の派遣についても検討していきます。

その他の質問事項
○動物愛護について ほか

東海環状自動車道の早期全線開通に向けて

水谷 隆 議員
自民党 いなべ市員弁郡選出



問 東海環状自動車道は、中京圏や沿線地域のポテンシャルを飛躍的に高めるために必要な高規格幹線道路です。

東回り区間は開通から10年が経過し、工場立地の増加や商業施設の出店など大きな効果をもたらしています。県内を通る西回り区間が整備されれば、新たな地域連携や産業発展を加速させる効果が見込まれます。現在の状況と今後の取り組みについてお聞きします。

答 企業と合同で要望を行い、開通による企業立地などのストック効果を訴えました。新四日市JCTから東員IC間は平成28年夏、東員ICから大安IC間は30年度開通予定です。大安ICから県境間の開通予定が早期に公表されるよう、今後は、企業の投資計画等にあわせた道路整備の必要性を訴えていきます。




東員インターチェンジ

その他の質問事項
○生命のメッセージ展in三重について ほか

発達障がい者の就労支援を

森野 真治 議員
新政みえ 伊賀市選出



問 社会問題となっており、無業者の中には、かなりの数の発達障がい者がおり、発達障がい者として適切な支援が受けられれば問題解決が進むはずですが、発達障がい者への就労支援の取り組みを聞かせてください。

また、発達障がい者を正しく診断できるように、医療福祉関係者の充実に向けた取り組みや、企業等への啓発の取り組みについても聞かせてください。



答 発達障がい者の就業実現に向け、ハローワーク等関係機関との連携を一層深めるとともに、相談支援を充実させます。また、発達障がい者の早期発見・治療的的確な診断が行われるよう、医療従事者等を対象とした研修の実施を検討します。企業への啓発としては、雇用に必要な配慮についての助言を行っています。

その他の質問事項
○伊賀鉄道への支援について ほか

サミット記念館の設置場所、「伊勢志摩」ナンバー実現を

中嶋 年規 議員
自民党
志摩市選出



問

伊勢志摩サミット記念館（仮称）の設置場所は、来館者の感性に強く訴えるためにも、首脳会議が行われる志摩観光ホテルを眺望でき、そこで会議が行われたとい



伊勢志摩サミット 三重県民会議 シンボルマーク

うことを実感できる場所が望ましいと思いますが、いかがですか。また、関係市町の意向を確認のうえ、目に見える形の遺産として、国へご当地「伊勢志摩」ナンバー実現に向けた働きかけを行ってはごうですか。

答

記念館の場所は、会場を眺望できる臨場感も検討要素の一つですが、サミット開催を象徴し、既存建物を活かして、多くの方に訪れていただける場所を念頭に検討するとともに、市町が管理運営できるか等も考えて決定します。ご当地ナンバーの導入は、市町の意向を十分踏まえたうえで、前向きに検討します。

その他の質問事項

○みえ産業振興戦略におけるTPPの位置づけ ほか

県立病院改革基本方針策定以降の一志病院の評価は

舟橋 裕幸 議員
新政みえ
津市選出



問

「民間移譲」という県立病院改革基本方針が出された平成22年3月以降、一志病院を取り巻く状況は大きく変化し、訪問診療・訪問看護などを通じて高齢者ケアなどの福祉領域への取り組みを進め、家庭医療を担う人材育成の拠点としても、県内のみならず全国的にも評価を得てきました。基本方針が出された後の一志病院をどのように評価しているのか、お伺いします。

答

一志病院は、家庭医による医療を提供するだけでなく、福祉関係者や保健関係者等の多職種連携による地域包括ケアを推進するなど、地域においてなくてはならない医療機関となつていくとともに、家庭医の育成拠点として家庭医療の教育・研究の場としても重要な役割を担っているものと認識しています。



一志病院

その他の質問事項

○第二次三重県行財政改革取組について ほか

用語解説

1 専攻科

高等学校の専攻科は、高等学校等を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者に対して、さらに高度な教育を行うことを目的とするものである。

2 障害者差別解消法

社会的障壁を取り除き、障がいのある人もない人も、ともに人格と個性が尊重される住みやすい社会を実現していくことを目的に制定された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のことです。

3 DENSE NET

Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis の略称で、南海トラフ地震の地震・津波を常時観測監視するため、国立研究開発法人海洋研究開発機構が整備した「地震・津波観測監視システム」のことです。

4 地域包括ケアシステム

高齢者が重度な要介護状態になつても、住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のことです。

文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、知事に対し、次のとおり文書による質問が提出されました。

○稲森稔尚議員（草の根運動みえ）
伊賀市の同性パートナーシップ証明書の発行について

※質問と回答は、県議会ホームページをご覧ください。

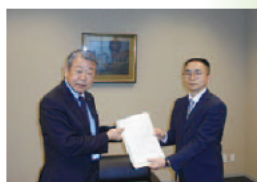
各常任委員会の1年間の活動の振り返り

三重県議会では、議員任期4年間を見据えた活動を計画的に行っていくため、昨年12月に「三重県議会 議会活動計画」を策定しました。この計画では、2月定例会月会議の際に、常任委員会ごとに1年間を振り返って委員会活動の自己評価を行い、その結果を翌年度の活動の改善につなげることをしています。

平成27年度は3月に開催した各常任委員会予算決算常任委員会は理事会で、この1年間に行った県内外調査、参考人招致、委員間討議などについて議員間で討議を行った上、委員会活動の自己評価を行い、3月22日の委員長会議で各常任委員長が評価結果の報告を行いました。

意見書を国に提出

3月22日の本会議で可決した意見書案8件を、同日25日に議長が国に対して提出しました。



請願と陳情の受付

県に対して意見や要望がある場合、どなたでも県議会に請願や陳情を提出できます。

請願

請願は、議員の紹介を受けて提出できます。県議会では、提出された請願を所管の委員会で議案と同様に審査し、実現する必要があると採択した場合には、国に意見書を提出したり、県政に反映させるよう執行機関に働きかけたりします。

陳情

陳情は、議員の紹介がなくても提出できます。提出された陳情は、とりまとめられたうえで、全議員に配付されます。

※手続きなど詳細は、三重県議会事務局までお問い合わせください。

お知らせ

「みえ高校生県議会」のご案内

高校生の議会への関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を聴き、議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。

当日は傍聴ができるほか、インターネット中継も行います。ぜひご覧ください。

◇開催日 平成28年8月19日（金） 13時から16時30分まで

◇場所 三重県議会議事堂

◇内容 高校生が議場で質問し、県議会議員が答えます。



みえ県議会出前講座のご案内

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を醸成することを目的に、「みえ県議会出前講座」を行っています。

県内の小中学校や高等学校などに議員が出向き、「県議会の役割」について説明を行い、県議会や議員に対する質問にお答えします。

みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。各学校からのお申し込みをお待ちしています。



昨年度の出前講座の様子